

道母連だより

第92号

発行日/令和2(2020)年1月1日

発行/社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連会

〒060-1003 札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内

電話 (011) 261-0447

●題字は山高しげり先生 ●印刷 機アイワード

新年を迎えて



北海道知事
鈴木直道

新年、あけましておめでとございます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営、民間企業と連携しての奨学金の給付、清掃業務や保育事業等におけるひとり親の雇用など、様々な場面でひとり親家庭の福祉の向上や自立の促進に寄与されていますことに心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。昨年を振り返りますと、夏から

秋にかけて台風による風水害が相次ぎ全国各地に甚大な被害をもたらしました。一方で、ラグビーワールドカップでの日本チームの活躍など、明るい話題があった一年でもありました。

さて、道内の有効求人倍率は改善傾向にあるものの、母子家庭の母は非正規雇用の割合が依然として高いことから年収が少ない場合が多く、また、父子家庭の父は困ったことや悩みの相談相手がいないとする割合が高いなど、厳しい就業状況や生活実態に置かれています。道では、こうした実態を踏まえ、公的資格取得のための就労支援を

始め、母子家庭等就業・自立支援センター等における就業支援や弁護士等による養育費などの相談支援、ひとり親家庭等生活支援事業による子どもの学習支援、母子父子寡婦福祉資金の貸付け等による経済的支援などを一層推進することとしています。

私も知事就任後、初めての新年を迎えることとなりますが、関係機関の皆様と連携し、仕事と子育ての両立支援や子どもが心身ともに健やかに成長できる社会づくりに向けて全力で取り組んでまいります。

新しい年が、皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭に当たって

理事長 畑 和子

新年あけましておめでとございます。健やかな新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃より、関係機関のみな様には温かいご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、全道で各ブロック研修会が開催され、意義ある一年であったと確信します。今後も、ひとり親家庭が孤立しないよう、若い人の話に耳を傾け、寄り添いサポートしながら、さらに制度の活用を広め、後継者の育成に努めていきたいと考えます。

向学心のある高校生の奨学金給付事業は、ご支援のみな様には深く感謝申し上げます。学びの心を後輩に繋ぐことも喫緊の課題です。

また、高等教育の無償化の要望が多い昨今ですが、高等教育の修学支援新制度が4月から実施されます。ひとり親家庭の支援団体としても周知し、進学を諦めることのないようにしたいものです。

全道のみなさんがご健康で活躍されることを祈念いたします。